

プログラム

(主要プログラム)

年会長講演

会頭講演

専門薬剤師育成委員会からの重要なお知らせ

特別講演

学術貢献賞・奨励賞受賞講演

Postdoctoral Award 受賞講演

International Symposium (国際シンポジウム)

シンポジウム

市民公開講座

ワークショップ

11月2日(土)

第1会場(福岡サンパレス 2F 大ホール)

<p>年会長講演</p> <p>座長：山田 清文(名古屋大学医学部附属病院薬剤部) 新しい時代を担う医療薬学のこれから ～薬学の英知の結集～ 武田 泰生 鹿児島大学病院薬剤部</p>		9:00～9:30
<p>特別講演1</p> <p>座長：木平 健治(一般社団法人日本病院薬剤師会会長) SL1 病院薬剤師に期待すること 安川 孝志 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課</p>		9:30～10:30
<p>特別講演2</p> <p>座長：田崎 嘉一(旭川医科大学病院薬剤部) SL2 A global perspective on the future of pharmaceutical healthcare in hospital related settings Robert J. Moss Hospital Pharmacy Section International Federation of Pharmacists, The Netherlands</p>		10:40～11:40
<p>シンポジウム 1</p> <p>薬物トランスポーターおよび代謝酵素が関与する薬物相互作用・病態時変動の評価：バイオマーカーの活用 オーガナイザー・座長：杉山 雄一(理化学研究所科技ハブ産連本部バトンゾーン研究推進プログラム杉山特別研究室)、 吉門 崇(横浜薬科大学薬学部臨床薬理学研究室)</p>		13:25～15:25
2-01-S01-1	<p>内在性バイオマーカーに基づく薬物間相互作用(DDI)リスク評価；イントロダクション 杉山 雄一 理化学研究所科技ハブ産連本部バトンゾーン研究推進プログラム杉山特別研究室</p>	
2-01-S01-2	<p>腎トランスポーター介在性薬物相互作用を予測するための内因性バイオマーカー探索 楠原 洋之 東京大学大学院薬学系研究科</p>	
2-01-S01-3	<p>肝トランスポーターを介したDDIの内因性バイオマーカーに基づく予測 吉門 崇 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科</p>	
2-01-S01-4	<p>4β-Hydroxycholesterolを指標とした腎機能障害時におけるCYP3A活性の評価 鈴木 陽介 明治薬科大学薬剤情報解析学研究室</p>	
<p>シンポジウム 2</p> <p>がんゲノム医療新時代～薬剤師が知っておくべきこと～ オーガナイザー・座長：縄田 修一(昭和大学横浜市北部病院薬剤部)、櫻井 洋臣(慶應義塾大学病院薬剤部)</p>		15:35～17:35
2-01-S02-1	<p>がんゲノム医療に関わる薬剤師の人材育成に向けた取り組み 櫻井 洋臣 慶應義塾大学病院薬剤部</p>	
2-01-S02-2	<p>がんゲノム医療中核拠点病院におけるがんゲノム医療コーディネーターおよび薬剤師の役割 竹野 美沙樹 国立がん研究センター東病院薬剤部</p>	
2-01-S02-3	<p>がんゲノムパネル検査を希望する患者さんを検査可能医療機関に紹介するための薬剤師の役割 ～体制作り・教育を中心に～ 縄田 修一^{1,2,3}、西川 徹³ ¹昭和大学薬学部病院薬剤学講座、²昭和大学横浜市北部病院薬剤部、³昭和大学横浜市北部病院臨床遺伝ゲノム医療室</p>	
2-01-S02-4	<p>がんゲノム医療の現状と今後の課題 四十物 絵理子、西原 広史 慶応大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット</p>	
2-01-S02-5	<p>遺伝情報を知ること起こりうる副作用 - 治療を選ぶ患者と家族に寄り添うために - 鈴木 美慧¹、深野 智華¹、大川 恵^{1,2}、出森 彩乃^{1,2}、金井 久子^{1,2}、山内 英子^{1,3}、山中 美智子^{1,4} ¹学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院遺伝診療部、²学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院看護部、 ³学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院プレストセンター、⁴学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院女性総合診療部</p>	

11月2日(土)

第2会場(福岡サンパレス 2F パレスルーム)

シンポジウム 3

9:00 ~ 11:00

臨床で行える研究のすすめ—観察研究の事例に基づく注意点とポイント—

オーガナイザー・座長：百 賢二(昭和大学薬学部/昭和大学統括薬剤部)、城田 幹生(東京都立広尾病院薬剤科)

2-02-S03-1 Antimicrobial Stewardship Program(抗菌薬適正使用支援活動)に関する臨床研究について
村上 修太郎
東京都立多摩総合医療センター薬剤科

2-02-S03-2 造血管腫瘍領域における観察研究の事例

安 武夫
明治薬科大学薬学教育研究センター臨床薬学部門治療評価学

2-02-S03-3 安全性速報が発出された医薬品の適正使用に向けた観察研究を経験して

石田 耕太
日本赤十字社医療センター薬剤部

2-02-S03-4 若手薬剤師の立場から考える民間病院における研究活動

上野 菜
医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院薬剤部

2-02-S03-5 観察研究のすすめかた—医薬品の剤形を加味した服薬アドヒアランス評価に関する観察研究—

百 賢二^{1,2}
¹昭和大学薬学部病院薬剤学講座、²昭和大学統括薬剤部

シンポジウム 4

13:25 ~ 15:25

精神疾患をもつ妊婦・授乳婦への事例を通じた薬学的アプローチ

オーガナイザー：赤嶺 由美子(秋田大学医学部附属病院薬剤部)、伊差川 サヤカ(琉球大学医学部附属病院薬剤部)

座長：赤嶺 由美子(秋田大学医学部附属病院薬剤部)、香西 祥子(JA 香川厚生連屋島総合病院産婦人科)

2-02-S04-1 妊婦・授乳婦に対する向精神薬治療の実態調査

伊差川 サヤカ、諸見 牧子、与那覇 房子、中村 克徳
琉球大学医学部附属病院薬剤部

2-02-S04-2 抗精神病薬と妊婦・授乳婦

山根 律子
国家公務員共済組合連合会虎の門病院薬剤部

2-02-S04-3 抗てんかん薬(気分安定薬)と妊婦・授乳婦

赤嶺 由美子
秋田大学医学部附属病院薬剤部

2-02-S04-4 妊婦と赤ちゃんを守るために～ベンゾジアゼピン系薬について～

前田 雅之、宮原 芽久美
奈良県立医科大学附属病院薬剤部

2-02-S04-5 抗うつ薬と妊婦・授乳婦/精神作用を持つ嗜好品と妊婦・授乳婦

香西 祥子^{1,2,3}、河西 邦浩¹、加藤 育子³、岡田 仁³、日下 隆³
¹JA 香川厚生連屋島総合病院産婦人科、²香川大学大学院医学系研究科、³香川大学医学部小児科学講座

シンポジウム 5

15:35 ~ 17:35

地域包括ケアシステムにおける病院薬剤師の役割を検証する～回復期病床からの発信～

オーガナイザー：島田 美樹(鳥取大学医学部附属病院)、菅原 満(北海道大学大学院薬学研究院)

座長：矢野 育子(神戸大学医学部附属病院)、山口 浩明(山形大学医学部附属病院)

2-02-S05-1 学術第1小委員会最終報告「地域包括ケアシステムにおける回復期での薬物療法への病院薬剤師の関与ならびに有用性の調査研究」

岸本 真
日本病院薬剤師会学術第1小委員会(平成30年度)

2-02-S05-2 地域包括ケア病棟における薬剤師の役割

三澤 貴美
地方独立行政法人長野県立病院機構長野県立信州医療センター薬剤部

2-02-S05-3 回復期における薬剤師の役割～服薬支援と在宅支援～

茂木 徹
公立七日市病院薬剤部

2-02-S05-4 回復期における薬剤師の役割～退院後の医療・介護環境に合わせた処方提案～

藤原 久登
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院薬局

共催：一般社団法人日本病院薬剤師会

11月2日(土)

第3会場(福岡国際会議場 2F 201)

International Symposium 1

13:25 ~ 15:25

The roles of pharmacists in the quality, efficacy, and safety of pharmaceuticals

Organizers : Yoshikazu Tasaki (Department of Hospital Pharmacy & Pharmacology, Asahikawa Medical University & University Hospital, Japan)

Ryuji Ikeda (Department of Pharmacy, University of Miyazaki Hospital, Japan)

Chairs : Bo Yu (Department of Pharmacy, Shanghai Cancer Center, Fudan University, China)

Jung-Tae Kim (Department of Pharmacy, Kyunghee University Hospital at Gangdong, Korea)

Hisashi Urushihara (Division of Drug Development & Regulatory Science, Faculty of Pharmacy, Keio University, Japan)

2-03-IS01-1 The role of hospital pharmacists in ensuring the quality, efficacy, and safety of pharmaceutical therapy in Japan

Atsumi Nishikori

Okayama University Hospital, Department of Pharmacy, Japan

2-03-IS01-2 Information technology helps the safety of medication during pregnancy

Yong Yang

Sichuan Provincial People's Hospital, China

2-03-IS01-3 The evaluation of drug utilization review on potentially inappropriate medications for elderly patients in a tertiary hospital

Yeo Hyang Cho

Department of Pharmacy, Chonnam National University Hospital, Korea

2-03-IS01-4 Transforming the Pharmacy Landscape in Singapore

Lita Chew

Ministry of Health, Singapore/Singapore Pharmacy Council/National Cancer Centre Singapore, Singapore

International Symposium 2

15:40 ~ 17:35

The roles of pharmacists in the quality, efficacy, and safety of pharmaceuticals

Organizers : Yoshikazu Tasaki (Department of Hospital Pharmacy & Pharmacology, Asahikawa Medical University & University Hospital, Japan)

Ryuji Ikeda (Department of Pharmacy, University of Miyazaki Hospital, Japan)

Chairs : Takeshi Akiyoshi (Keio University Faculty of Pharmaceutical Sciences, Japan)

Makiko Iwasawa (Kitasato University School of Pharmacy, Research and Education Center for Clinical Pharmacy / Division of Clinical Pharmacy (Laboratory of Drug Information), Japan)

2-03-IS02-1 Retrospective analysis of the correlation between tacrolimus whole blood concentrations and variations in blood cell counts in patients undergoing allogeneic haematopoietic stem cell transplantation

Naoki Yoshikawa, Shuhei Urata, Kazuya Yasuda, Hiroshi Sekiya, Yasutoshi Hirabara, Manabu Okumura, Ryuji Ikeda

Department of Pharmacy, University of Miyazaki Hospital, Japan

2-03-IS02-2 Study of Exposures to Pharmaceutical Dust After Grinding Tablets

Takenori Tamaki

KUSURINOMIDORI Co., Ltd. Division of Pharmacy, Japan

2-03-IS02-3 The role and meaning of Japanese pharmacist working in Developing country for UHC and SDGs

Mitsuru Otsuka, Kouji Okahashi, Kanji Tomogane

Department of Pharmacy, Kyoto Daini Redcross Hospital, Japan

2-03-IS02-4 Certified pharmacists in U.S.A., and training programs and certified pharmacists in Thailand

Shinichi Masuda

National Cancer Center East Hospital, Japan

2-03-IS02-5 Pharmacist-driven clinical studies on chemotherapy-induced nausea and vomiting

Toshinobu Hayashi

Department of Pharmaceutical and Health Care Management, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Fukuoka University, Japan

11月2日(土)

第4会場(福岡国際会議場 2F 202)

シンポジウム 6

9:00 ~ 11:00

医療のケアがあっても、おうちに帰りたい
~ 今こそ、薬・薬連携の真価が問われる小児在宅医療 ~

オーガナイザー : 串田 一樹 (昭和薬科大学地域連携薬局イノベーション講座 /HIP 研究会)、
廣原 正宜 (昭和薬科大学臨床薬学教育研究センター)

座長 : 串田 一樹 (昭和薬科大学地域連携薬局イノベーション講座 /HIP 研究会)、
山谷 明正 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター)

2-04-S06-1 小児在宅医療の現状と問題点

森脇 浩一

埼玉医科大学総合医療センター小児科

- 2-04-S06-2 小児在宅医療における病院薬剤師の役割
丹沢 彩乃
国立成育医療研究センター薬剤部
- 2-04-S06-3 小児在宅医療の関わり方について
長谷川 寛
日本調剤株式会社在宅医療部
- 2-04-S06-4 小児在宅医療の課題
串田 一樹
昭和薬科大学

シンポジウム 7

13:25 ~ 15:25

避けてはとおれない電子カルテや調剤システムのリプレース～その時薬剤部門では何が起ころのか～

オーガナイザー：小枝 伸行（八尾市立病院）、若林 進（杏林大学医学部付属病院）

座長：若林 進（杏林大学医学部付属病院）、荒 義昭（独立行政法人国立病院機構埼玉病院）

- 2-04-S07-1 避けてはとおれない電子カルテや調剤システムのリプレース ～成功事例、しくじり事例から学ぶ～
若林 進
杏林大学医学部付属病院薬剤部
- 2-04-S07-2 その機能、ホントに要りますか？ ～システム更新時の取組み～
岡橋 孝侍
京都第二赤十字病院薬剤部／医療情報室（兼務）
- 2-04-S07-3 AI時代における薬剤部門システムの更新事例～システムに使われないために
佐藤 弘康
J A北海道厚生連帯広厚生病院薬剤部
- 2-04-S07-4 システム更新は、新業務構築と問題整理のチャンス
木村 好伸
草加市立病院薬剤部
- 2-04-S07-5 どうする医薬品オーダ？ ～一回量、用法標準化のススメ～
池田 和之^{1,2}、和田 良浩^{1,2}、川崎 裕貴¹、小林 慎治¹
¹奈良県立医科大学附属病院薬剤部、²奈良県立医科大学附属病院医療情報部

シンポジウム 8

15:35 ~ 17:35

災害に備える！災害時における薬剤師の役割とその教育を考えよう
～ BRIDGE OVER TROUBLED WATER ～

オーガナイザー：高山 和郎（東京大学医学部附属病院薬剤部）、小林 政彦（日本赤十字社大阪赤十字病院）

座長：江川 孝（福岡大学薬学部実務薬剤学教室）、
松村 友和（宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション淀川キリスト教病院薬剤部）

- 2-04-S08-1 広がる災害医療と薬剤師支援
渡邊 暁洋
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救命救急災害医学災害医療マネジメント学講座
- 2-04-S08-2 災害時の薬剤師の役割と連携【大阪府の取組み】
若井 聡智¹、辻野 悦次²
¹独立行政法人国立病院機構大阪医療センター救命救急センター、²大阪府健康医療部環境衛生課
- 2-04-S08-3 災害に備えて薬剤師がすべき平時からの取組み
谷 大輔¹、小林 政彦¹、中出 雅治²
¹大阪赤十字病院薬剤部、²大阪赤十字病院国際医療救援部
- 2-04-S08-4 災害医療教育の特殊性と薬学生・薬剤師への避難所運営シミュレーション教育
安原 智久、永田 実沙、串畑 太郎
摂南大学薬学部

11月2日（土）

第5会場（福岡国際会議場 2F 203 + 204）

シンポジウム 9

9:00 ~ 11:00

科学的視点に立ち周術期を安全に乗り切る ～医薬品適正使用研究からの提言～

オーガナイザー：畝井 浩子（広島大学病院薬剤部）、北村 佳久（岡山大学病院薬剤部）

座長：北村 佳久（岡山大学病院薬剤部）、座間味 義人（徳島大学病院薬剤部）

- 2-05-S09-1 薬学的介入ポイント
畝井 浩子
広島大学病院薬剤部

- 2-05-S09-2 **周術期感染症対策**
矢野 貴久
鳥根大学医学部附属病院薬剤部
- 2-05-S09-3 **周術期のせん妄に対して薬剤師ができること - これまでの取り組みとこれからへの考察 -**
吉川 明良
地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院薬剤部
- 2-05-S09-4 **大規模医療情報データベースを活用した周術期領域における薬剤疫学研究**
座間味 義人^{1,2}、石澤 有紀³、新村 貴博¹、小山 敏広⁴、濱野 裕章²、岡田 直人²、合田 光寛²、武智 研志⁵、
中馬 真幸⁵、堀ノ内 裕也⁶、桐野 靖²、中村 敏己²、寺岡 和彦²、石澤 啓介^{1,2}
¹ 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野、² 徳島大学病院薬剤部、³ 徳島大学 AWA サポートセンター、
⁴ 岡山大学薬学部、⁵ 徳島大学病院臨床試験管理センター、⁶ 徳島大学大学院医歯薬学研究部薬理学分野
- 2-05-S09-5 **周術期に関連する炎症状態における精神機能変化および中枢神経作用薬の薬効変化 ～医薬品適正使用の推進～**
北村 佳久
岡山大学病院薬剤部

シンポジウム 10

13:25 ～ 15:25

セントラル担当と病棟担当薬剤師とのクロストーク～効率化と連携を再考する～

オーガナイザー：赤嶺 由美子（秋田大学医学部附属病院薬剤部）、三浦 昌朋（秋田大学医学部附属病院薬剤部）
座長：三浦 昌朋（秋田大学医学部附属病院薬剤部）、大本 暢子（神戸大学医学部附属病院薬剤部）

- 2-05-S10-1 **趣旨説明**
三浦 昌朋
秋田大学医学部附属病院薬剤部
- 2-05-S10-2 **調剤室担当薬剤師と病棟担当薬剤師の協働がもたらすもの**
大本 暢子
神戸大学医学部附属病院薬剤部
- 2-05-S10-3 **調剤室、抗がん剤調製業務における効率化と安全性強化 ー病棟薬剤師との連携ー**
濱口 直美、杉本 浩子、世古口 典子、岩本 卓也
三重大学医学部附属病院薬剤部
- 2-05-S10-4 **試験研究室がサポートする病棟薬剤業務における therapeutic drug monitoring**
尾田 一貴、岩村 耕次、片野田 朋美、成田 勇樹、田上 直美、城野 博史、齋藤 秀之
熊本大学病院薬剤部
- 2-05-S10-5 **病棟担当薬剤師視点でのセントラルとの連携**
加賀谷 英彰
秋田大学医学部附属病院薬剤部
- 2-05-S10-6 **術場や注射等を中心に施設の取り組み**
清川 真美
福井大学医学部附属病院薬剤部

シンポジウム 11

15:35 ～ 17:35

医薬品使用の国際化～知らないでは済まされない。医療用麻薬の持出渡航や規制医薬品にどう向き合うか～

オーガナイザー：石原 千春（調剤薬局 a m a n o 名古屋医療センター前 2 号店）、橋本 直弥（愛知県がんセンター薬剤部）
座長：林 誠（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤部）、佐藤 淳也（静岡県立静岡がんセンター薬剤部）

- 2-05-S11-1 **保険薬局における医療用麻薬の持出渡航への対応事例から見てきた医薬品規制の情報提供および問題点について**
石原 千春
調剤薬局 a m a n o 名古屋医療センター前 2 号店
- 2-05-S11-2 **当院における麻薬携帯輸出入許可申請時の工夫と実際**
橋本 直弥
愛知県がんセンター薬剤部
- 2-05-S11-3 **医療用麻薬及び医療用精神薬の携帯による輸出及び輸入の制度について**
坂西 義史
厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課
- 2-05-S11-4 **睡眠薬の国際条約による規制**
鈴木 勉
星薬科大学薬学部薬物依存研究室

11月2日(土)		第6会場(福岡国際会議場 3F メインホール)
シンポジウム 12		9:00 ~ 11:00
がん化学療法に伴う末梢神経障害の対応策を目指した基礎・臨床での取り組みと融合		
オーガナイザー・座長：江頭 伸昭(九州大学病院薬剤部)、川尻 雄大(九州大学大学院薬学研究院臨床育薬学分野・臨床薬学教育センター)		
2-06-S12-1	臨床現場での課題と対応策 川上 和宜 がん研究会有明病院薬剤部	
2-06-S12-2	がん化学療法に伴う末梢神経障害の発症機構解析とドラッグ・リポジショニング研究 中川 貴之 京都大学医学部附属病院薬剤部	
2-06-S12-3	オキサリプラチンによる末梢神経障害の軽減・抑制を目指した基礎研究と今後の展望 川尻 雄大 ¹ 、小林 大介 ¹ 、牛尾 聡一郎 ² 、江頭 伸昭 ³ 、鳥添 隆雄 ¹ ¹ 九州大学大学院薬学研究院臨床育薬学分野・臨床薬学教育センター、 ² 岡山大学病院薬剤部、 ³ 九州大学病院薬剤部	
2-06-S12-4	大規模医療情報データベースを活用したオキサリプラチン誘発末梢神経障害に対する予防薬探索 合田 光寛 ^{1,2} 、座間味 義人 ^{1,2} 、新村 貴博 ² 、川尻 雄大 ³ 、武智 研志 ⁴ 、中馬 真幸 ⁴ 、萱野 純史 ¹ 、濱野 裕章 ¹ 、岡田 直人 ¹ 、小林 大介 ³ 、鳥添 隆雄 ³ 、石澤 有紀 ⁵ 、桐野 靖 ¹ 、中村 敏己 ¹ 、寺岡 和彦 ¹ 、石澤 啓介 ^{1,2} ¹ 徳島大学病院薬剤部、 ² 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学、 ³ 九州大学大学院薬学研究院臨床育薬学、 ⁴ 徳島大学病院臨床試験管理センター、 ⁵ 徳島大学 AWA サポートセンター	
2-06-S12-5	レニン・アンジオテンシン系阻害薬による抗がん剤誘発末梢神経障害の抑制 高取 真吾 松山大学大学院医療薬学研究科	
特別講演 3		13:25 ~ 14:25
座長：山本 康次郎(群馬大学医学部附属病院薬剤部)		
SL3	DX が医療の現場にもたらすもの ～全ての医療従事者が認識しておくべき、変化とセキュリティリスクと心構え～ 小屋松 美佳 NRI セキュアテクノロジーズ株式会社 DX セキュリティ事業本部セキュリティサービス開発部	
特別講演 4		14:30 ~ 15:30
座長：下堂 権洋(九州保健福祉大学薬学部)		
SL4	AI 時代の医療 木村 通男 浜松医科大学医学部附属病院医療情報部	
シンポジウム 13		15:35 ~ 17:35
医療ビッグデータを活用した新しい時代を担う医療薬学研究		
オーガナイザー：千堂 年昭(岡山大学病院薬剤部)、石澤 啓介(徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野)		
座長：小山 敏広(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医薬品臨床評価学)、座間味 義人(徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野)		
2-06-S13-1	医療ビッグデータを用いた研究総論 樋之津 史郎 札幌医科大学医学部医療統計学	
2-06-S13-2	ナショナルレベルのデータ活用による研究事例 小山 敏広 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医薬品臨床評価学	
2-06-S13-3	実臨床を起点としたデータベース解析研究 今井 徹、鈴木 慎一郎、鷺巣 晋作、木村 高久 日本大学医学部附属板橋病院薬剤部	
2-06-S13-4	大規模副作用データベースの薬剤師業務への活用の試み - 精神科薬物療法の視点から - 江角 悟、牛尾 聡一郎、北村 佳久、千堂 年昭 岡山大学病院薬剤部	
2-06-S13-5	医療ビッグデータ解析と基礎研究を融合した薬剤性副作用の機序解明および治療薬の開発 新村 貴博 ¹ 、座間味 義人 ^{1,2} 、石澤 有紀 ³ 、合田 光寛 ² 、武智 研志 ⁴ 、中馬 真幸 ⁴ 、福島 圭穂 ⁵ 、堀ノ内 裕也 ⁶ 、池田 康将 ⁶ 、藤野 裕道 ⁵ 、土屋 浩一郎 ⁷ 、石澤 啓介 ^{1,2} ¹ 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野、 ² 徳島大学病院薬剤部、 ³ 徳島大学 AWA サポートセンター、 ⁴ 徳島大学病院臨床試験管理センター、 ⁵ 徳島大学大学院医歯薬学研究部生命薬理学分野、 ⁶ 徳島大学大学院医歯薬学研究部薬理学分野、 ⁷ 徳島大学大学院医歯薬学研究部医薬品機能生化学分野	

11月2日(土)

第12会場(福岡国際会議場 5F 501)

シンポジウム 14

9:00 ~ 11:00

ファーマコゲノミクス検査の臨床応用に向けた医療薬学からの提案

オーガナイザー・座長：寺田 智祐(滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部)、齋藤 嘉朗(国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部)

2-12-S14-1 個別化医療とファーマコゲノミクス ～現状と課題～

齋藤 嘉朗、塚越 絵里

国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部

2-12-S14-2 HLA 検査による副作用発現リスクの予測

蒔田 泰誠

理化学研究所生命医科学研究センター

2-12-S14-3 最新の PGx 研究：STAT3 遺伝子多型と分子標的型抗がん薬の副作用

山本 和宏

神戸大学医学部附属病院薬剤部

2-12-S14-4 *NUDT15* 遺伝子多型とチオプリン製剤への感受性

田中 庸一

北里大学薬学部

2-12-S14-5 実臨床におけるファーマコゲノミクス検査の活用状況

平 大樹¹、辻 大樹²、齋藤 嘉朗³、蒔田 泰誠⁴、三浦 昌朋⁵、寺田 智祐⁶

¹立命館大学薬学部、²静岡県立大学薬学部、³国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部、

⁴理化学研究所生命医科学研究センターファーマコゲノミクス研究チーム、⁵秋田大学医学部附属病院薬剤部、

⁶滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部

シンポジウム 15

13:25 ~ 15:25

リスク・ベネフィットを考慮した最適な抗血栓療法を目指して薬剤師が本当にやるべきことは？

オーガナイザー：石井 伊都子(千葉大学医学部附属病院薬剤部)、土岐 真路(聖マリアンナ医科大学病院薬剤部)

座長：南 圭祐(医療法人圭裕会南記念クリニック)、石井 伊都子(千葉大学医学部附属病院薬剤部)

2-12-S15-1 医師から薬剤師にお願いしたい、血液サラサラのアドヒアランスエイド

南 圭祐

医療法人圭裕会南記念クリニック

2-12-S15-2 抗血栓療法を巡る現在の問題と「薬剤師」が考える解決の糸口

土岐 真路、横溝 綾子、北山 知里、浅海 夕貴、前田 幹広

聖マリアンナ医科大学病院薬剤部

2-12-S15-3 PK/PD を考慮した DOAC の使い分け ～徹底的に DOAC と PK/PD ～

山口 洪樹

千葉大学医学部附属病院薬剤部

2-12-S15-4 抗血小板薬と抗凝固薬の併用に薬剤師はどう踏み込むべきか？ ～ガイドライン改訂で何が変わる？～

芦川 直也

豊橋ハートセンター薬局

2-12-S15-5 DOAC 時代の新課題、Overdose/Underdose をどう考える？

堀内 望、野崎 歩、小林 由佳

京都桂病院薬剤科

2-12-S15-6 抗血栓薬のアドヒアランス改善を目指した地域の力！～患者さんの理解度の実際／薬剤師がかける魔法の言葉～

宮崎 元康

福岡大学筑紫病院薬剤部

シンポジウム 16

15:35 ~ 17:35

「医薬品の安全使用のための業務手順書」の改定とその活用

オーガナイザー：小枝 伸行(八尾市立病院)、岸本 真(霧島市立医師会医療センター)

座長：小枝 伸行(八尾市立病院)、久岡 清子(育和会記念病院)

2-12-S16-1 薬機法・薬剤師法の改正等をふまえた「業務手順書作成マニュアル改訂版」の活用に関する留意点

土屋 文人

国際医療福祉大学薬学部

2-12-S16-2 中小病院における医療安全マニュアルの活用ープロセスフローチャートによる業務マニュアルの見える化ー

酒向 幸

医療法人香徳会関中央病院薬剤科

2-12-S16-3 医療安全管理部と連携して実施した医薬品の安全使用のための業務手順書改訂作業と今後の課題

高橋 弘充

東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部

2-12-S16-4 療養型中小病院における、医薬品安全管理マニュアルのつぼを抑えた簡略化について
近藤 幸男
社会福祉法人東京有隣会有隣病院薬剤科

11月2日(土)

第13会場(福岡国際会議場 5F 502+503)

シンポジウム 17

9:00～11:00

客観的な医薬品評価における現在の医薬品情報源の役割と将来展望

オーガナイザー：後藤 伸之(福井大学医学部附属病院薬剤部)、富田 隆志(広島大学病院薬剤部)
座長：大塚 誠(福岡大学病院薬剤部)、金井 紀仁(新座病院薬剤科)

2-13-S17-1 添付文書記載要領の改訂ポイントと期待する活用方法
後藤 伸之
福井大学医学部附属病院薬剤部

2-13-S17-2 インタビューフォーム記載要領の改訂ポイントと期待する活用方法
富田 隆志
広島大学病院薬剤部

2-13-S17-3 RMPを活かす～医薬品評価から患者ケアまで～
川名 真理子
医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部

2-13-S17-4 あらためて審査報告書・申請資料概要を読み解く
荒 義昭
独立行政法人国立病院機構埼玉病院薬剤部

共催：一般社団法人日本病院薬剤師会 医薬情報委員会

シンポジウム 18

13:25～15:25

がん化学療法における臨床的課題を解決するために研究指導者が持つべき先導的視点

オーガナイザー・座長：橋本 浩伸(国立がん研究センター中央病院)、
河添 仁(慶應義塾大学薬学部医療薬学・社会連携センター医療薬学部門)

2-13-S18-1 薬学部生が臨床的課題を論文化するまでの研究指導者との出会い
内田 真美
松山大学大学院医療薬学研究科医薬情報解析学

2-13-S18-2 教育担当者として、若手薬剤師に対する研究指導で得た学び
橋本 浩伸
国立がん研究センター中央病院

2-13-S18-3 後ろ向き観察研究をインパクトファクターの高い学術雑誌へ掲載する戦略
河添 仁
慶應義塾大学薬学部医療薬学・社会連携センター医療薬学部門

2-13-S18-4 論文投稿のノウハウ ～原稿作成とリバイスのポイント～
大谷 壽一
慶應義塾大学薬学部

シンポジウム 19

15:35～17:35

患者のアレルギー・副作用を上手に管理するためのエッセンス～副作用の発見から管理、報告まで～

オーガナイザー：小枝 伸行(八尾市立病院)、関谷 泰明(独立行政法人岐阜県総合医療センター)
座長：木下 元一(名古屋第二赤十字病院)、高田 敦史(九州大学病院/独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療情報活用部)

2-13-S19-1 副作用等報告制度の概要と報告された情報の利用等について
岩崎 麻美
独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全性情報・企画管理部情報管理課

2-13-S19-2 どんな副作用を報告すべきか？副作用報告の臨床における活用方法
土屋 雅美
宮城県立がんセンター薬剤部

2-13-S19-3 副作用情報の収集とデータの活用について
望月 伸夫
国立がん研究センター東病院薬剤部

2-13-S19-4 早期発見に向けた副作用情報の収集活動と今後の取り組み
男全 昭紀
横浜市立みなと赤十字病院薬剤部

2-13-S19-5 薬剤部における副作用の一元管理とシステム管理上の問題点
高橋 正明
社会医療法人若竹会つくばセントラル病院

11月2日(土)

第14会場(マリンメッセ福岡 2F 大会議室)

シンポジウム 20

9:00 ~ 11:00

薬剤師の国際貢献の未来を語ろう—災害救援や開発協力で必要とされる薬剤師のニーズにどう立ち向かうか

オーガナイザー: 小林 政彦(大阪赤十字病院薬剤部)、折井 孝男(河北総合病院薬剤部)

座長: 折井 孝男(河北総合病院薬剤部)、奥村 順子(長崎大学熱帯医学研究所)

2-14-S20-1 緊急人道危機に対する医療援助現場の変遷—国境なき医師団の場合

黒崎 伸子

国境なき医師団

2-14-S20-2 国際赤十字の人道支援における事業管理と保健コーディネーターとしての役割—中東とアフリカでの経験より

五十嵐 真希^{1,2}

¹ 日本赤十字社国際部中東地域事務所、² 国際赤十字赤新月社連盟中東北アフリカ地域事務所

2-14-S20-3 海外医療援助活動に参加する中小規模病院薬剤師のキャリアマネジメントの一例

榊原 英朗^{1,2}

¹ 国境なき医師団(MSF) 日本、² 医療法人厚生医学会厚生会第一病院薬局

2-14-S20-4 災害救援におけるメディカル・ロジスティクスへの挑戦と人材育成—日常業務と国際救援業務におけるワーク・ワークバランス

小林 映子¹、石田 耕太²、細谷 治²

¹ 日本赤十字社医療センター薬剤部/国際医療救援部、² 日本赤十字社医療センター薬剤部

シンポジウム 21

13:25 ~ 15:25

患者の暮らしにつなぐオール薬剤師による入退院支援業務の展開

オーガナイザー・座長: 室井 延之(神戸市立医療センター中央市民病院(日本病院薬剤師会薬剤業務委員会))、
荒木 隆一(市立敦賀病院(日本病院薬剤師会地域医療委員会))

2-14-S21-1 病院から地域につなぐ薬物療法と薬剤師の役割

室井 延之

神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部(日本病院薬剤師会薬剤業務委員会)

2-14-S21-2 地域医療を支える病院薬剤師の役割 ~医療連携の考え方・進め方~

荒木 隆一

市立敦賀病院医療支援部(日本病院薬剤師会地域医療委員会)

2-14-S21-3 兵庫県から全国へ、薬局ビジョン事業から新たな連携を考える

吉田 昌弘

一般社団法人兵庫県薬剤師会

2-14-S21-4 退院時薬剤管理サマリーの活用による医療・介護連携~薬学的支援をつなぎ、患者の暮らしにつなぐ~

澁田 憲一

医療法人良秀会高石藤井病院(日本病院薬剤師会療養病床委員会)

シンポジウム 22

15:35 ~ 17:35

循環器領域の薬剤師に求められる一歩進んだコンピテンシー

~薬物療法の評価に必要な検査モダリティ~

オーガナイザー: 柴田 啓智(済生会熊本病院)、志賀 剛(東京慈恵会医科大学)

座長: 梶原 洋文(社会医療法人三愛会大分三愛メディカルセンター)、志賀 剛(東京慈恵会医科大学)

2-14-S22-1 Modality がもたらす薬剤師の activity ~エコーの possibility ~

柴田 啓智、甲斐 光、大山 亜梨沙、西村 知晃、田上 治美

済生会熊本病院薬剤部

2-14-S22-2 薬剤師に求められる心電図評価と不整脈の薬学的マネジメント

梶原 洋文

社会医療法人三愛会大分三愛メディカルセンター

2-14-S22-3 病歴・身体所見・バイタルサインから総合的にとらえる患者の病態評価と薬学的マネジメント

北原 加奈之^{1,2}

¹ 昭和大学病院薬剤部、² 昭和大学薬学部病院薬剤学講座

2-14-S22-4 薬剤師に期待する循環器薬物療法のコンピテンシー

志賀 剛

東京慈恵会医科大学臨床薬理学

11月2日(土)

第15会場(マリンメッセ福岡 3F サブアリーナ)

シンポジウム 23

9:00 ~ 11:00

【医療薬学会 学術委員会】

医療現場における薬物相互作用マネジメント能力の育成

オーガナイザー・座長：米澤 淳(京都大学大学院薬学研究科)、伊藤 清美(武蔵野大学薬学部)

2-15-S23-1 「医療現場における薬物相互作用へのかかわり方ガイド」の作成～学術第一小委員会活動報告～

伊藤 清美
武蔵野大学薬学部

2-15-S23-2 医療現場における薬物相互作用マネジメント能力の育成～医療薬学学術第四小委員会の活動計画～

米澤 淳^{1,2}
¹京都大学大学院薬学研究科、²京都大学医学部附属病院薬剤部

2-15-S23-3 薬物相互作用マネジメントにおける PISCS の活用方法

大野 能之
東京大学医学部附属病院薬剤部

2-15-S23-4 臨床現場における薬物相互作用エビデンスの活用と課題

木村 丈司
神戸大学医学部附属病院

2-15-S23-5 DDI データベースを活用したマネジメント

増田 純一
国立国際医療研究センター病院薬剤部

シンポジウム 24

13:25 ~ 15:25

今おさえておきたい集中治療における基本的薬物治療

オーガナイザー：加藤 隆寛(愛知医科大学病院薬剤部)、原 直己(横浜労災病院薬剤部)

座長：加藤 隆寛(愛知医科大学病院薬剤部)、安藝 敬生(長崎大学病院薬剤部)

2-15-S24-1 脳出血患者における基本的薬物治療

若杉 和美
長崎大学病院薬剤部

2-15-S24-2 そのエビデンスが使えるか？急性心筋梗塞の薬物治療

奥川 寛、馬橋 美由季、堀内 望、野崎 歩、小林 由佳
社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院薬剤科

2-15-S24-3 予防的薬物療法—ストレス潰瘍・深部静脈血栓症を中心に—

川邊 一寛
横浜市立大学附属病院薬剤部

2-15-S24-4 薬剤師に出来ること！栄養管理のエビデンスと実際

川口 奈奈子
市立伊丹病院薬剤部薬剤科

2-15-S24-5 PADIS 管理で必要な薬剤師の視点とは？

勝 綾香、中藪 健一
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院薬剤部

2-15-S24-6 集中治療における薬物治療はどこまで標準化されているか

加藤 隆寛
愛知医科大学病院薬剤部

共催：一般社団法人 日本集中治療医学会

シンポジウム 25

15:35 ~ 17:35

より良い薬物治療を提供するために伝わる記録を書くためのコツ

オーガナイザー・座長：寺沢 匡史(社会医療法人愛仁会明石医療センター薬剤科)、坂野 昌志(名古屋セントラル病院薬剤科)

2-15-S25-1 正しく伝わる記録に求められるもの—医療安全の視点から—

高野 秀仁
医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部

2-15-S25-2 もう悩まない「A(アセスメント)」の記載のコツ

寺沢 匡史
社会医療法人愛仁会明石医療センター薬剤科

2-15-S25-3 DI と病棟薬剤師の連携と情報提供時の記録の記載

—必要な情報を医師に的確に伝えるためのコツ—
佐村 優
医療法人社団緑成会横浜総合病院薬剤科

- 2-15-S25-4 病棟薬剤業務に活かせる記録のコツとは？
真継 賢一
関西電力病院薬剤部
- 2-15-S25-5 入院から外来へのシームレスな記録を書こう～外来がん患者への介入事例を踏まえて～
菅野 雄太
名古屋セントラル病院薬剤科
- 2-15-S25-6 最南端からお伝えする施設間連携のための薬剤管理サマリー
小杉 卓大
社会医療法人友愛会豊見城中央病院薬剤科

11月2日(土)

第16会場(ホテル日航福岡 3F 都久志の間)

シンポジウム 26

9:00～11:00

こんなときどうする？専門薬剤師が考える血糖コントロール

オーガナイザー・座長：厚田 幸一郎(北里大学薬学部薬物治療学1)、竹内 裕紀(東京薬科大学薬学部医療実務薬学研究室)

- 2-16-S26-1 血糖値の安全管理に向けた業務の恒例化～高齢化も視野に入れて～
藤井 博之
国家公務員共済組合連合会虎の門病院薬剤部
- 2-16-S26-2 糖尿病とがん 目指すはバランスの良い治療関係
根本 真記
がん研有明病院医療安全管理部/薬剤部
- 2-16-S26-3 変遷する腎機能に応じた血糖コントロール実践のススメ
堀井 剛史
北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター薬物治療学1
- 2-16-S26-4 こんなときどうする？周術期における血糖コントロール
柴田 啓智、吉田 愛、北岡 朋子、田中 忠宏、田上 治美
済生会熊本病院薬剤部

シンポジウム 27

13:25～15:25

AYA世代がん患者への薬剤師の貢献 ～治療に伴う性腺機能低下に、一歩踏み込んだ介入を～

オーガナイザー：米村 雅人(国立がん研究センター東病院薬剤部)、日置 三紀(滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部)

座長：米村 雅人(国立がん研究センター東病院薬剤部)、網野 一真(諏訪赤十字病院薬剤部)

- 2-16-S27-1 AYA世代がんのチーム医療
清水 千佳子
国立国際医療研究センター病院がん総合診療センター乳腺・腫瘍内科
- 2-16-S27-2 男性AYA患者への薬剤師の貢献
小室 雅人
国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2-16-S27-3 女性AYA患者への薬剤師の貢献
日置 三紀
滋賀医科大学医学部附属病院
- 2-16-S27-4 センシティブな内容を含むコミュニケーション ～患者を尊重した服薬支援のための模擬患者(SP)参加型教育
有田 悦子
北里大学薬学部薬学教育研究センター医療心理学部門

シンポジウム 28

15:35～17:35

小児領域における薬剤師の幅広い活躍

オーガナイザー：富家 俊弥(医療法人同愛会小澤病院薬剤部)、小高 賢一(東京理科大学薬学部)

座長：石川 洋一(明治薬科大学小児薬品評価学研究室)、富家 俊弥(医療法人同愛会小澤病院薬剤部)

- 2-16-S28-1 AMR対策の現場では
由留部 圭伍
独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院薬剤部感染対策室 AST
- 2-16-S28-2 NICU病棟薬剤師が目指すチーム医療
灘谷 直実
埼玉医科大学総合医療センター薬剤部
- 2-16-S28-3 小児緩和ケアにおける薬剤師の関わり
坂田 和佳子
日本大学医学部附属板橋病院薬剤部

2-16-S28-4 子どものためにアレルギー疾患を通じて薬剤師にできること

上荷 裕広

すずらん調剤薬局

11月2日(土)

ワークショップ会場(マリンメッセ福岡 2F 会議室2)

ワークショップ1

13:30～17:30

薬物療法専門薬剤師ワークショップ

「ジェネラリストとしての薬剤師力を磨く

～実践！複合疾患を有する患者への薬学的アプローチ」

オーガナイザー・座長：望月 眞弓（慶應義塾大学病院薬剤部）、四方 敬介（京都府立医科大学附属病院薬剤部）

コーディネーター：北原 加奈之（昭和大学病院薬剤部）

ファシリテーター：門村 将太（JCHO 札幌北辰病院薬剤科）、鈴木 正論（医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部）、

田中 雅幸（関西医科大学附属病院薬剤部）、星 茜（昭和大学病院薬剤部）、

北原 加奈之（昭和大学病院薬剤部）、宮津 大輔（福岡徳洲会病院薬剤部）、

田中 紀章（浜松医科大学医学部附属病院薬剤部）、小川 敦（岡山大学病院薬剤部）

11月3日(日)

第1会場(福岡サンパレス 2F 大ホール)

シンポジウム 29

9:00 ~ 11:00

がん個別化医療を担う病院薬剤師のこれから
/ Precision Medicine に対するそれぞれの役割

オーガナイザー・座長：野村 久祥(国立がん研究センター東病院薬剤部)、辻 大樹(静岡県立大学薬学部臨床薬効解析学分野)

- 3-01-S29-1 **国立がん研究センター東病院における遺伝子パネル検査の経験**
向原 徹
国立がん研究センター東病院乳腺・腫瘍内科
- 3-01-S29-2 **個別化医療への薬学的支援 がんゲノム医療コーディネーターとして**
上本 剛
国立がん研究センター東病院薬剤部
- 3-01-S29-3 **臨床薬剤師による薬学的視点の個別化医療**
野村 久祥
日本医療研究開発機構臨床研究・治験基盤事業部臨床研究課
- 3-01-S29-4 **がん化学療法における副作用マネジメントの個別化 ～好中球減少のリスクファクター探索を例に～**
矢野 良一
福井大学医学部附属病院薬剤部
- 3-01-S29-5 **がん薬物療法の支持療法に対する個別化**
辻 大樹
静岡県立大学薬学部臨床薬効解析学分野

シンポジウム 30

13:25 ~ 15:25

“腎”で斬るポリファーマシー
～CKD患者の多剤併用療法に介入する秘訣～

オーガナイザー：平田 純生(熊本大学薬学部臨床薬理学分野)、浦田 元樹(社会医療法人寿楽会大野記念病院薬剤部)

座長：浦田 元樹(社会医療法人寿楽会大野記念病院薬剤部)、吉田 拓弥(特定医療法人仁真会白鷺病院薬剤科)

- 3-01-S30-1 **Overview: CKD患者はポリファーマシーなのか？**
浦田 元樹
社会医療法人寿楽会大野記念病院薬剤部
- 3-01-S30-2 **エビデンスから考える保存期CKD患者の多剤併用療法の必要性和管理の秘訣**
鈴木 大介^{1,2}
¹JA愛知厚生連海南病院薬剤部、²岐阜薬科大学実践社会薬学研究室
- 3-01-S30-3 **事例で学ぶ！保存期CKD患者のポリファーマシーに介入する秘訣**
小林 豊
富士宮市立病院薬剤部
- 3-01-S30-4 **事例で学ぶ！透析患者のポリファーマシーに介入する秘訣**
早川 兼司
立川メディカルセンター立川総合病院
- 3-01-S30-5 **再検証！透析患者のポリファーマシーで話題となるリン吸着薬**
吉田 拓弥
特定医療法人仁真会白鷺病院薬剤科

共催：日本腎臓病薬物療法学会

シンポジウム 31

15:35 ~ 17:35

抗菌薬適正使用支援チームの薬剤師が知っておくべき抗感染症薬の基礎と実践的使い方

オーガナイザー・座長：松元 一明(慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座)、
西 圭史(杏林大学医学部付属病院医療安全管理部・感染対策室)

- 3-01-S31-1 **抗菌スペクトルとアンチバイオグラム**
浦上 宗治
佐賀大学医学部附属病院感染制御部
- 3-01-S31-2 **MRSA 感染症治療薬の使い分けと投与設計**
植田 貴史¹、竹末 芳生¹、中嶋 一彦¹、一木 薫¹、石川 かおり¹、高井 喜子¹、和田 恭直¹、山田 久美子¹、
土田 敏恵¹、高橋 佳子²、石原 美佳²、木村 健²
¹兵庫医科大学病院感染制御部、²兵庫医科大学病院薬剤部
- 3-01-S31-3 **ESBL 産生菌感染症治療 up to date**
松元 一明
慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座

- 3-01-S31-4 **CDI 感染症治療の実践**
茂見 茜里^{1,2}
¹鹿児島大学病院薬剤部、²鹿児島大学病院感染制御部
- 3-01-S31-5 **抗真菌薬のスペクトルと使い分け - アゾール系薬を中心に -**
浜田 幸宏
東京女子医科大学病院薬剤部

11月3日(日)

第2会場(福岡サンパレス 2F パレスルーム)

シンポジウム 32

9:00 ~ 11:00

薬剤師の視点で見出した問題点を解決する創薬・育薬研究～自らエビデンスを構築する未来の薬剤師像～

オーガナイザー・座長：松元 一明(慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座)、永田 将司(東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部)

- 3-02-S32-1 **現在から未来、病院・薬局薬剤師に求められる薬剤師像**
安川 孝志
厚生労働省医薬・生活衛生局総務課
- 3-02-S32-2 **地域における薬局を基盤にした薬学的視点による活動を通じた考察**
手嶋 無限^{1,2,4}、中嶋 幹郎^{2,4}、徳永 仁^{3,4}、狭間 研至⁴
¹株式会社 ONEDERS アイビー薬局、²長崎大学薬学部、³九州保健福祉大学薬学部、⁴一般社団法人日本在宅薬学会
- 3-02-S32-3 **薬局における医療薬学研究**
堀 里子
慶應義塾大学薬学部
- 3-02-S32-4 **薬物療法に貢献する病院薬剤師の使命**
永田 将司
東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部
- 3-02-S32-5 **病院における医療薬学研究～添付文書は研究のヒントにもなる～**
高田 龍平、山梨 義英、伊藤(松岡) 紗代、豊田 優、山本 武人、鈴木 洋史
東京大学医学部附属病院薬剤部

シンポジウム 33

13:25 ~ 15:25

がん領域での高度薬学的機能を有する薬局に対応する薬剤師の役割
～シームレスな薬学的介入のために～

オーガナイザー：松井 礼子(国立がん研究センター東病院)、安原 真人(帝京大学薬学部地域医療薬学研究室)

座長：遠藤 一司(KKR札幌医療センター)、松井 礼子(国立がん研究センター東病院)

- 3-02-S33-1 **病院薬剤師の立場より ～シンポジウムの主旨より薬局との連携を振り返る～**
松井 礼子
国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
- 3-02-S33-2 **行政の立場より「薬機法等の改正により薬局と病院の薬剤師が対応すべきこと」**
三山 由美子
厚生労働省医薬・生活衛生局総務課
- 3-02-S33-3 **病院薬剤師の立場より 近隣調剤薬局とのがん化学療法における医療連携～PBPMを中心に～**
縄田 修一^{1,2}
¹昭和大学薬学部病院薬剤学講座、²昭和大学横浜市北部病院薬剤部
- 3-02-S33-4 **保険薬局薬剤師の立場より**
久田 健登
望星薬局

シンポジウム 34

15:35 ~ 17:35

心臓リハビリテーションにおける薬剤師の役割～循環器疾患の薬学的ケアを考える～

オーガナイザー：吉国 健司(JCHO九州病院薬剤部)、神村 英利(福岡大学病院薬剤部)

座長：三浦 伸一郎(福岡大学医学部心臓・血管内科学)、入江 利行(小倉記念病院薬剤部)

- 3-02-S34-1 **心臓リハビリテーションにおける薬剤師の役割 医師が期待する薬剤師の役割について**
折口 秀樹
JCHO九州病院健康診断部
- 3-02-S34-2 **心臓リハビリテーションにおける理学療法士の役割と運動薬剤関連**
花田 智¹、岩切 弘直²
¹都城市郡医師会病院総合リハビリテーション室、²都城市郡医師会病院循環器内科
- 3-02-S34-3 **「薬物治療と心リハとベッドサイドの薬剤師」 - 病棟薬剤師と心リハの素敵なコラボ -**
土岐 真路¹、武市 尚也²、木田 圭亮³
¹聖マリアンナ医科大学病院薬剤部、²聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部、³聖マリアンナ医科大学薬理学

3-02-S34-4 外来心臓リハビリテーションへの薬剤師の関わり～冠危険因子に関する薬の調節～

向井 一樹¹、無漏田 香穂¹、大原 由希子¹、橋本 佳浩¹、本間 智明²、小林 平²

¹JA 広島総合病院薬剤部、²JA 広島総合病院リハビリテーション科

共催：特定非営利活動法人日本心臓リハビリテーション学会

11月3日(日)

第3会場(福岡国際会議場 2F 201)

シンポジウム 35

9:00～11:00

吸入薬の適正使用をめざした多角的アプローチ ～薬剤師として吸入薬の最適な使用法を考えよう～

オーガナイザー・座長：長井 紀章(近畿大学薬学部)、平 大樹(立命館大学薬学部)

3-03-S35-1 吸入療法が薬物療法の中心となる呼吸器疾患

福岡 和也

近畿大学病院臨床研究センター

3-03-S35-2 吸入指導における病院薬剤師の役割

尾上 雅英

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院薬剤部

3-03-S35-3 滋賀県における吸入連携「滋賀吸入療法連携フォーラム」

永井 智宏

滋賀県薬剤師会

3-03-S35-4 臨床現場での活用を目指した吸入剤研究の実践

平 大樹^{1,2}

¹立命館大学薬学部、²滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部

3-03-S35-5 最近の経肺 DDS 開発状況－薬物キャリアの経肺応用－

田原 耕平

岐阜薬科大学薬物送達学大講座製剤学研究室

シンポジウム 36

13:25～15:25

臨床現場における保湿剤の重要性と経皮適用剤

オーガナイザー・座長：内野 智信(静岡県立大学薬学部臨床薬学分野)、徳留 嘉寛(城西大学薬学部皮膚生理学研究室)

3-03-S36-1 皮膚生理学における保湿の重要性

正木 仁

東京工科大学応用生物学部

3-03-S36-2 丈夫な皮膚をつくる正しい保湿剤の使い方

大谷 道輝

佐々木研究所附属杏雲堂病院薬剤科

3-03-S36-3 EGFR チロシキナーゼ阻害薬(EGFR-TKI)における皮膚乾燥ケアに対する取り組み

瀧口 友美

公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部

3-03-S36-4 製薬企業が考える保湿剤の製剤設計

小澤 洋介

マルホ株式会社 CMC 研究部

3-03-S36-5 化粧品企業が考える保湿製品とその設計

坂田 修

株式会社コーサー研究所

3-03-S36-6 これからの経皮吸収型製剤(保湿剤を含む)

杉林 堅次^{1,2}

¹城西国際大学、²城西大学

共催：公益社団法人日本薬剤学会

シンポジウム 37

15:35～17:35

小規模病院における薬剤業務の再構築 ～小規模病院で、安心、安全な薬物療法を提供するため何をすべきか～

オーガナイザー：賀勢 泰子(鳴門山上病院)、荒木 隆一(市立敦賀病院)

座長：荒川 隆之(五日市記念病院)、荒木 隆一(市立敦賀病院)

3-03-S37-1 これからの病院薬剤師が向き合うべきいくつかの視点

小枝 伸行

八尾市立病院事務局

- 3-03-S37-2 小病院勤務薬剤師の業務革命急性期より～在宅までの懸け橋として小病院薬剤師ができること、すべきこと
園田 利広
諸隈病院
- 3-03-S37-3 高齢者に対する薬物療法支援の未来
森 直樹
くまもと温石病院薬局
- 3-03-S37-4 重症心身障害児者に安全な薬物療法を提供するための取り組み～臨床業務・研究からのエビデンス構築～
森本 真仁、浜田 茂明
徳島赤十字ひのみね総合療育センター薬剤課
- 3-03-S37-5 薬剤部門管理からみた小規模病院薬剤師の未来
上野山 周雄
医療法人穂翔会村田病院
- 3-03-S37-6 地域医療を担う小規模病院薬剤師へのメッセージ
荒木 隆一
市立敦賀病院医療支援部

11月3日(日)

第4会場(福岡国際会議場 2F 202)

シンポジウム 38

9:00～11:00

臨床業務で活躍できる若手を育成するために

オーガナイザー・座長：安 武夫(明治薬科大学)、伊藤 佳織(藤田医科大学病院薬剤部)

3-04-S38-1 ステップアップシステムを用いた病棟薬剤師の若手育成

伊藤 佳織
藤田医科大学病院薬剤部

3-04-S38-2 学生および若手薬剤師の育成に対する“あどばいす”

柏倉 康治
静岡県立大学薬学部実践薬学分野

3-04-S38-3 外来がん薬物療法：ママ薬剤師からのエール

藤堂 真紀
埼玉医科大学国際医療センター薬剤部

3-04-S38-4 臨床業務からみつけるクリニカルクエッション

百 賢二^{1,2}
¹昭和大学薬学部病院薬剤学講座、²昭和大学統括薬剤部

3-04-S38-5 On-the-Job Training を見直そう

土手 賢史
京都桂病院薬剤科

シンポジウム 39

13:25～15:25

TDM を活用したクリニカル・クエッションの解決 ～臨床薬剤師による TDM 研究・臨床応用の発展を期待して～

オーガナイザー：尾田 一貴(熊本大学病院薬剤部)、三浦 昌朋(秋田大学医学部附属病院薬剤部)

座長：尾田 一貴(熊本大学病院薬剤部)、榎屋 友幸(鈴鹿医療科学大学薬学部臨床薬学センター)

3-04-S39-1 造血器腫瘍領域の経口分子標的抗がん剤における TDM の有用性

鎧屋 舞子
秋田大学医学部附属病院薬剤部

3-04-S39-2 HPLC を活用した TDM 実施体制の臨床運用によるクリニカル・クエッションの解決

尾田 一貴^{1,2}、岩村 耕次¹、片野田 朋美^{1,2}、成田 勇樹¹、野坂 生郷²、城野 博史¹、齋藤 秀之¹
¹熊本大学病院薬剤部、²熊本大学病院感染制御部

3-04-S39-3 TDM により患者個々の薬物動態への理解を深め、治療方針決定に貢献できた事例

八島 秀明
群馬大学医学部附属病院薬剤部

3-04-S39-4 薬物治療マネジメントを志向した TDM の実践

潮平 英郎、伊差川 サヤカ、諸見 牧子、与那覇 房子、中村 克徳
琉球大学医学部附属病院薬剤部

3-04-S39-5 急性薬物中毒の症例から見出されたクリニカルクエッションと考察

榎屋 友幸¹、今井 寛²
¹鈴鹿医療科学大学薬学部臨床薬学センター、²三重大学医学部附属病院救命救急センター

シンポジウム 40

15:35 ~ 17:35

外国人患者さんへの対応に不安を感じていませんか？最初の一步を踏み出すためには？どうしたらよいのか？

オーガナイザー・座長：高田 勝利（成田赤十字病院薬剤部）、
吉山 友二（北里大学薬学部保険薬局学）

- 3-04-S40-1 **これから役立つ外国人患者への対応に向けた英知の結集**
吉山 友二
北里大学薬学部保険薬局学
- 3-04-S40-2 **国立国際医療研究センター病院における外国人患者対応と薬剤部の取り組み**
坂本 治彦
国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 3-04-S40-3 **日本語しかできなくても OK！お助けアイテムを使おう！そしてまずは楽しく一步踏み出そう！**
池浦 恵
株式会社ウェルパークウェルパーク薬局東浦和駅前店
- 3-04-S40-4 **外国人選手が日本で医療を受けるために薬剤師ができること**
笠師 久美子
北海道医療大学薬学部薬学教育推進講座
- 3-04-S40-5 **医療通訳を知って、納得。職場のヒヤリハット解消のお手伝いをします。**
森田 直美
一般社団法人全国医療通訳者協会

11月3日（日）

第5会場（福岡国際会議場 2F 203 + 204）

シンポジウム 41

9:00 ~ 11:00

医薬品安全対策：「ここまで来た」から「これから」へ - ビッグデータの利活用を考える -

オーガナイザー・座長：折井 孝男（NTT 東日本関東病院）、高田 敦史（九州大学病院メディカルインフォメーションセンター）

- 3-05-S41-1 **MID-NET の運営・管理の状況について**
金子 明依
独立行政法人医薬品医療機器総合機構
- 3-05-S41-2 **医療データベースを用いた薬剤疫学研究と薬剤師業務の評価**
小原 拓^{1,2}
¹ 東北大学病院薬剤部、² 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 3-05-S41-3 **データマッピングから見えた標準化の必要性とそのプロセス ～ビッグデータ利活用への期待～**
横山 威一郎
千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 3-05-S41-4 **「次世代医療基盤法」に係る関係者の共通の理解と同法の可能性や期待**
佐々木 正大
内閣官房健康・医療戦略室

共催：一般社団法人日本医療情報学会

シンポジウム 42

13:25 ~ 15:25

オンコロジック・エマーゼンシーに対する集中治療領域の薬剤師とがん領域の薬剤師の視点

オーガナイザー・座長：土手 賢史（京都桂病院薬剤科）、前田 幹広（聖マリアンナ医科大学病院薬剤部）

- 3-05-S42-1 **敗血症の固形がん患者へのアプローチ**
東 加奈子
東京医科大学病院薬剤部
- 3-05-S42-2 **心不全の原因・誘因となる抗がん薬の心毒性**
土手 賢史
京都桂病院薬剤科
- 3-05-S42-3 **がん患者が遭遇する敗血症性ショック ～集中治療の立場から～**
安藝 敬生
長崎大学病院薬剤部
- 3-05-S42-4 **抗がん薬治療患者に発症する急性心不全**
原 直己
労働者健康安全機構横浜労災病院薬剤部

共催：一般社団法人日本集中治療医学会

シンポジウム 43		15:35 ~ 17:35
免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象 (irAE) への対策と医療連携		
オーガナイザー・座長：渡邊 裕之 (九州大学病院薬剤部)、林 祐一 (岐阜大学医学部附属病院脳神経内科)		
3-05-S43-1	免疫関連有害事象 (irAE) とその対策 池末 裕明 神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部	
3-05-S43-2	免疫関連有害事象マネジメントへの薬剤師の取り組み ～岐阜大学医学部附属病院におけるチーム医療の実践から～ 飯原 大稔 岐阜大学医学部附属病院薬剤部	
3-05-S43-3	地域連携による irAE マネジメント 南 晴奈、渡邊 裕之、池田 宗彦、秦 晃二郎、増田 智先 九州大学病院薬剤部	
3-05-S43-4	irAE に関する内科的理解と重篤な irAE に対する診断・治療 林 祐一 ¹ 、飯原 大稔 ² 、鈴木 昭夫 ² ¹ 岐阜大学医学部附属病院脳神経内科、 ² 岐阜大学医学部附属病院薬剤部	
11月3日 (日)		第6会場 (福岡国際会議場 3F メインホール)
会頭講演		10:00 ~ 10:30
座長：佐々木 均 (長崎大学病院薬剤部)		
日本医療薬学会のさらなる発展に向けた取り組みと課題		
奥田 真弘 一般社団法人日本医療薬学会会頭 / 大阪大学医学部附属病院薬剤部		
専門薬剤師育成委員会からの重要なお知らせ		10:30 ~ 11:00
座長：奥田 真弘 (一般社団法人日本医療薬学会会頭 / 大阪大学医学部附属病院薬剤部)		
日本医療薬学会における認定・専門薬剤師制度の見直しと新たな制度設計について		
寺田 智祐 滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部		
特別講演 5		13:25 ~ 14:25
座長：岩崎 克典 (福岡大学薬学部)		
SL5	グリア細胞による病態時の大脳皮質神経回路再編：慢性疼痛を中心として 鍋倉 淳一 ^{1,2} 、竹田 育子 ¹ 、江藤 圭 ^{1,2} 、和氣 弘明 ³ ¹ 自然科学研究機構・生理学研究所、 ² 総合研究大学院大学、 ³ 神戸大学・医学研究科	
特別講演 6		14:35 ~ 15:35
座長：武田 泰生 (鹿児島大学病院薬剤部)		
SL6	Medication Safety in a Complex Oncology Landscape Stephen Harnicar Memorial Sloan Kettering Cancer Center, USA	
公益財団法人小林がん学術振興会 助成		
特別講演 7		15:45 ~ 16:45
座長：齋藤 秀之 (熊本大学病院薬剤部)		
SL7	肺癌薬物療法の歴史と未来 中西 洋一 北九州市立病院機構	
11月3日 (日)		第12会場 (福岡国際会議場 5F 501)
シンポジウム 44		9:00 ~ 11:00
医薬品安全性学のススめ～臨床現場で活躍する薬剤師がめざすこれから～		
オーガナイザー・座長：佐藤 光利 (明治薬科大学薬学教育研究センター)、 宇野 勝次 (千葉科学大学薬学部 / アインファーマシーズ)		
3-12-S44-1	医薬品安全性専門薬剤師 (DSSP) を通じて社会的貢献を目指す 宇野 勝次 千葉科学大学薬学部 / アインファーマシーズ	

- 3-12-S44-2 **薬物動態を考慮した薬物療法支援**
前田 頼伸
福山大学薬学部薬剤情報解析学
- 3-12-S44-3 **薬剤性腎障害のアセスメント**
平田 純生
熊本大学大学院生命科学研究部・薬学部臨床薬理学分野
- 3-12-S44-4 **PK/PD/PGx 解析を用いた医薬品の副作用対策**
北市 清幸
岐阜薬科大学薬物動態学研究室
- 3-12-S44-5 **薬局薬剤師が医薬品の安全性を担保するためにできること**
近藤 悠希
熊本大学大学院生命科学研究部薬剤情報解析学分野

共催：一般社団法人日本医薬品安全性学会

シンポジウム 45

13:25 ~ 15:25

疾患を超えて薬学的観点から多剤併用療法の理論を考える

オーガナイザー：竹内 裕紀（東京薬科大学薬学部医療実務薬学教室）、井上 岳（北里大学北里研究所病院薬剤部）

座長：竹内 裕紀（東京薬科大学薬学部医療実務薬学教室）、三浦 昌朋（秋田大学医学部附属病院薬剤部）

- 3-12-S45-1 **腎移植における免疫抑制薬の多剤併用療法の有用性—免疫学的腎疾患への応用について考える—**
竹内 裕紀
東京薬科大学薬学部医療実務薬学教室
- 3-12-S45-2 **抗がん薬の多剤併用療法の考え方**
石川 寛
静岡県立静岡がんセンター薬剤部
- 3-12-S45-3 **糖尿病治療薬における多剤併用療法**
井上 岳
北里大学北里研究所病院薬剤部
- 3-12-S45-4 **漢方薬は多剤併用療法の原点**
山田 陽城
東京薬科大学薬学部
- 3-12-S45-5 **精神疾患における多剤併用療法の問題点**
赤嶺 由美子
秋田大学医学部附属病院薬剤部

シンポジウム 46

15:35 ~ 17:35

薬剤師業務の効率化・生産性向上を考える～付加価値のある業務展開に向けて～

オーガナイザー・座長：吉村 知哲（大垣市民病院薬剤部）、外山 聡（新潟大学医歯学総合病院薬剤部）

- 3-12-S46-1 **薬剤部組織マネジメントによる効率化と生産性向上に向けた取り組み**
吉村 知哲
大垣市民病院薬剤部
- 3-12-S46-2 **北海道地域における薬剤師業務の効率化**
粟屋 敏雄
市立旭川病院薬剤科
- 3-12-S46-3 **タスクシェアリング・タスクシフティングによる薬剤師業務の合理化と生産性向上**
舟越 亮寛^{1,2}
¹医療法人鉄蕉会医療管理本部薬剤管理部、²医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部
- 3-12-S46-4 **他職種連携による病院薬剤師業務の効率性、付加価値向上に向けて**
萱野 勇一郎
社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会中津病院
- 3-12-S46-5 **IT を利用した医療情報の活用と業務効率化**
下堂 蘭 権洋
九州保健福祉大学薬学部薬学科

11月3日(日)

第14会場(マリンメッセ福岡 2F 大会議室)

シンポジウム 47

9:00 ~ 11:00

地域医療における連携とファーマシーマネジメント
—地域の実情に即した病院・保険薬局の機能分化と連携—

オーガナイザー・座長：赤瀬 朋秀(日本経済大学大学院経営学研究科)、金田 昌之(医療法人五星会菊名記念病院薬剤部)

- 3-14-S47-1 **病院の戦略を薬剤部に落とし込む**
植木 哲也
産業医科大学病院薬剤部
- 3-14-S47-2 **地域包括ケアシステムに貢献するための大学附属薬局におけるファーマシーマネジメントの実践**
寺町 ひとみ^{1,2,3}、井口 和弘^{3,4}、伊野 陽子^{3,4}、野口 義紘^{1,3}、玉木 啓文^{3,4}、山下 修司^{3,5}、館 知也¹
¹岐阜薬科大学実践薬学大講座病院薬学研究室、²岐阜薬科大学地域医療薬学寄附講座、³岐阜薬科大学附属薬局、⁴岐阜薬科大学実践薬学大講座薬局薬学研究室、⁵岐阜薬科大学実践薬学大講座実践社会薬学研究室
- 3-14-S47-3 **持続可能な薬業連携に向けた新たな試み～病院薬剤師と地域薬剤師が協働で行うバランスト・スコアカード～**
須賀 宏之、内田 隆通
深谷赤十字病院薬剤部
- 3-14-S47-4 **地方創生におけるリージョナル・ファーマシーマネジメントの実践**
舟越 亮寛^{1,2}
¹医療法人鉄蕉会医療管理本部薬剤管理部、²医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部
- 3-14-S47-5 **地域医療における持続可能性の追求と薬剤師の役割**
赤瀬 朋秀
日本経済大学大学院経営学研究科

シンポジウム 48

13:25 ~ 15:25

医療薬学研究に取り組むための基礎と実践

オーガナイザー：伊藤 清美(武蔵野大学薬学部)、田崎 嘉一(旭川医科大学病院薬剤部)

座長：吉山 友二(北里大学薬学部)、田崎 嘉一(旭川医科大学病院薬剤部)

- 3-14-S48-1 **初めての医療薬学研究に向けて - 研究計画書と論文作成のイロハ -**
池田 龍二
宮崎大学医学部附属病院薬剤部
- 3-14-S48-2 **臨床研究に取り組むための研究倫理のポイントと注意点**
渡邊 達也
北里大学医学部附属臨床研究センター企画開発部門
- 3-14-S48-3 **医療薬学研究に必要な統計マインド - p 値に惑わされないために**
山村 重雄
城西国際大学薬学部
- 3-14-S48-4 **臨床研究の必要性 - 薬学教育と臨床現場との橋渡し -**
園田 純一郎
九州保健福祉大学薬学部薬学科
- 3-14-S48-5 **薬局における臨床研究の意義と展望**
恩田 光子
大阪薬科大学社会薬学・薬局管理学研究室

シンポジウム 49

15:35 ~ 17:35

『急性薬毒物中毒 あなたならどう対応しますか』

オーガナイザー：堀 寧(新潟市民病院薬剤部)、峯村 純子(昭和大学横浜市北部病院薬剤部)

座長：堀 寧(新潟市民病院薬剤部)、松尾 和廣(東邦大学薬学部医療薬学教育センター臨床薬学研究室)

- 3-14-S49-1 **急性薬物中毒における薬剤性不整脈！！症例から薬学的アプローチを考える**
今井 徹
日本大学医学部附属板橋病院薬剤部
- 3-14-S49-2 **今行っている薬毒物分析業務について**
波多野 亘¹、五十嵐 大輝¹、寺島 達也¹、平良木 由布¹、島田 祐子¹、堀 寧¹、広瀬 由和²、廣瀬 保夫²
¹新潟市民病院薬剤部、²新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター
- 3-14-S49-3 **イヌサフラン誤食によりコルヒチン中毒を発症した患者への薬剤師の関わり**
矢内 一成¹、鈴木 博也¹、小林 正和²、赤坂 和俊¹、山口 浩明³、眞野 成康¹
¹東北大学病院薬剤部、²東北大学病院救急科、³山形大学医学部附属病院薬剤部
- 3-14-S49-4 **ER 常駐薬剤師による臭化ジスチグミン中毒の早期診断**
齋藤 靖弘
札幌東徳洲会病院薬剤部

3-14-S49-5 当院の中毒症例とその対応
佐藤 智人
広島大学病院薬剤部

共催：一般社団法人日本中毒学会

11月3日(日)

第15会場(マリンメッセ福岡 3F サブアリーナ)

シンポジウム 50

9:00 ~ 11:00

地域医療における低栄養の問題点と対策—摂食嚥下、輸液管理、褥瘡、がんケアの観点から—

オーガナイザー・座長：倉田 なおみ(昭和大学薬学部社会健康薬学講座社会薬学部門)、
小原 道子(ウエルシアHD株式会社/岐阜薬科大学地域医療薬学寄付講座)

3-15-S50-1 本シンポジウムの主旨

倉田 なおみ
昭和大学薬学部社会健康薬学講座社会薬学部門

3-15-S50-2 栄養摂取の入り口である口腔内の状況とその改善

戸原 玄
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯学系専攻老化制御学講座高齢者歯科学分野

3-15-S50-3 輸液栄養における栄養量・栄養組成の現状と薬剤師がすべきこと

東 敬一朗
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院薬剤部

3-15-S50-4 褥瘡の発症原因を知り多職種で協働しよう

塚田 邦夫
医療法人社団研医会高岡駅南クリニック

3-15-S50-5 低栄養や口腔内環境から見てきた在宅ケアの視点

小原 道子^{1,2}、林 秀樹^{2,3}、生木 庸寛^{2,4}、松川 泰治⁵、加藤 梨那⁵、池野 隆光¹、鈴木 大⁷、古島 大資⁶、
山田 浩⁶、杉山 正^{2,3}

¹ウエルシアHD株式会社、²岐阜薬科大学地域医療薬学寄付講座、³岐阜薬科大学実践社会薬学研究室、
⁴ウエルシア薬局株式会社、⁵UHA味覚糖株式会社技術開発セクション、⁶静岡県立大学薬学部医薬品情報解析学分野、
⁷社会福祉法人ウエルガーデンウエルガーデン伊興園

シンポジウム 51

13:25 ~ 15:25

新しい時代を担う薬剤師の副作用マネジメントを考える ~抗がん治療において患者を視るスキル~

オーガナイザー：松尾 宏一(福岡大学筑紫病院薬剤部)、川上 和宜(がん研究会有明病院薬剤部)
座長：松尾 宏一(福岡大学筑紫病院薬剤部)、野村 久祥(日本医療研究開発機構)

3-15-S51-1 薬剤師が行う副作用マネジメントを行なう意義~安易に薬と関連させないための除外診断~

松尾 宏一
福岡大学筑紫病院薬剤部

3-15-S51-2 薬剤師による副作用の判断 ~副作用か否かどのように考えるか~

川口 崇
東京薬科大学医療実務薬学教室

3-15-S51-3 がん薬物療法に際して腫瘍内科医が行う有害事象評価と鑑別診断 - 薬剤師に期待する観察のポイント -

柴田 伸弘
関西医科大学附属病院がんセンター

3-15-S51-4 メディカルスタッフのための有害事象評価

山口 拓洋
東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野

3-15-S51-5 事例紹介

川上 和宜
がん研究会有明病院薬剤部

シンポジウム 52

15:35 ~ 17:35

がん専門薬剤師の薬学的介入の視点と症例サマリーのまとめ方のコツ

オーガナイザー・座長：河原 昌美(愛知学院大学薬学部臨床薬剤学)、濱 敏弘(公益財団法人がん研有明病院薬剤部)

3-15-S52-1 2018年のがん専門薬剤師審査状況と動向について

河原 昌美
愛知学院大学薬学部臨床薬剤学

3-15-S52-2 SIADHの合併が疑われた悪性リンパ腫に対する支持療法に関与した症例

がけ 晋太郎
市立砺波総合病院薬剤科

- 3-15-S52-3 膵がん患者の全身状態を考慮したレジメン選択に関与した症例
 藺上 圭子
 金沢市立病院薬剤室
- 3-15-S52-4 脂肪肉腫患者に対する薬学的介入
 山口 恭平
 松山赤十字病院薬剤部
- 3-15-S52-5 肺がん患者の VTE 重篤化に対して予防的な介入を行った症例
 西部 星来
 藤田医科大学病院薬剤部
- 3-15-S52-6 再発胃がん患者の下痢症状に対する薬学的介入
 松井 裕典
 一般財団法人倉敷成人病センター

11月3日(日)

第16会場(ホテル日航福岡 3F 都久志の間)

シンポジウム 53

9:00 ~ 11:00

漢方薬の適正使用のための科学的アプローチ

オーガナイザー・座長: 磯濱 洋一郎(東京理科大学薬学部応用薬理学研究室)、本間 真人(筑波大学附属病院薬剤部)

- 3-16-S53-1 がん患者の生活の質の向上に貢献する漢方薬: 基礎・臨床研究に基づく適切な処方選択
 上園 保仁^{1,2}、宮野 加奈子¹
¹国立がん研究センター研究所がん患者病態生理研究分野、²国立がん研究センター中央病院支持療法開発センター
- 3-16-S53-2 漢方薬の免疫活性化作用と骨髄由来免疫抑制細胞(MDSC)
 磯濱 洋一郎
 東京理科大学薬学部応用薬理学研究室
- 3-16-S53-3 筋肉量の減少に対する漢方薬の影響
 大澤 匡弘
 名古屋市立大学大学院薬学研究科神経薬理学分野
- 3-16-S53-4 漢方製剤の有害事象
 本間 真人
 筑波大学附属病院薬剤部

共催: 一般社団法人 和漢医薬学会

11月3日(日)

ワークショップ会場(マリンメッセ福岡 2F 会議室2)

ワークショップ 2

13:30 ~ 17:30

臨床研究ワークショップ

「落とし穴に陥らない臨床研究実践のための極意(入門編)」

オーガナイザー: 漆原 尚巳(慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座)、中川 俊作(京都大学医学部附属病院薬剤部)

企画・実行委員長: 種村 奈菜枝(慶應義塾大学薬学部)

ファシリテーター: 原 梓(慶應義塾大学薬学部)、種村 奈菜枝(慶應義塾大学薬学部)、
 佐藤 夕紀(京都大学医学部附属病院薬剤部)、傳田 将也(京都大学大学院薬学研究科)
 福井 彩香(京都大学医学部附属病院薬剤部)

臨床研究実施に必要なエッセンス 落とし穴に陥らないために

中川 俊作

京都大学医学部附属病院薬剤部

薬剤師が現場で持つ Clinical Question から Research Question へ

魚住 龍史

京都大学大学院医学研究科医学統計生物情報学

臨床研究計画前に Research Question からシノプシスを作成しよう

失敗しない臨床研究計画立案に向けて

井出 和希

京都大学学際融合教育研究推進センター

明日からの臨床研究実践に向けて

漆原 尚巳

慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座

共催: 日本臨床疫学会

11月4日(月・祝)

第1会場(福岡サンパレス 2F 大ホール)

学術貢献賞・奨励賞受賞講演

9:00 ~ 10:30

- 座長：山田 清文(名古屋大学医学部附属病院薬剤部)
- 受賞-1 臨床上の課題解決に向けた薬学的介入とそのアウトカム評価に関する研究
橋田 亨
神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部
- 受賞-2 周産期の医薬品・サプリメント使用に関するエビデンス創出と臨床応用
小原 拓^{1,2}
¹東北大学病院薬剤部、²東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 受賞-3 医薬品適正使用を目指した薬剤師介入の有用性の評価に関する研究
木村 丈司
神戸大学医学部附属病院薬剤部
- 受賞-4 個別化吸入療法を指向した吸入指導ツールの開発と臨床的有用性評価
平 大樹
立命館大学薬学部

シンポジウム 54

13:25 ~ 15:25

臨床栄養における PBPM (プロトコールに基づく薬物治療管理) の実践~薬剤師の積極的治療参加を目指して~

オーガナイザー：井上 真(社会医療法人敬和会大分岡病院薬剤部)、伊東 弘樹(大分大学医学部附属病院薬剤部)

座長：伊東 弘樹(大分大学医学部附属病院薬剤部)、北 英士(大分県厚生連鶴見病院薬剤科)

- 4-01-S54-1 臨床栄養領域における薬剤師業務の変遷と PBPM を考える
井上 真
社会医療法人敬和会大分岡病院薬剤部
- 4-01-S54-2 薬剤師に今何ができるか?今こそ独自のアクションを-働き方改革の先に見えてくるもの-
鶴 知光¹、小野 沙織²、長嶋 フクエ²、高瀬 麻衣³、阿部 浩子³、上坂 英二³
¹雪の聖母会聖マリア病院臨床・教育・研究本部、²雪の聖母会聖マリア病院薬剤部、³田無病院教育担当
- 4-01-S54-3 臨床現場で行う栄養療法における PBPM の実際
野崎 歩、堀内 望、奥川 寛、馬橋 美由季、小林 由佳
社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院薬剤科
- 4-01-S54-4 電解質管理における診療科横断的介入を目的とした PBPM
梶原 洋文
社会医療法人三愛会大分三愛メディカルセンター

11月4日(月・祝)

第2会場(福岡サンパレス 2F パレスルーム)

シンポジウム 55

9:00 ~ 11:00

入退院支援と医療連携~周術期患者安全と高質医療へのかかわり

オーガナイザー：舟越 亮寛(医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤管理部)、柴田 ゆうか(広島大学病院医療安全管理部)

座長：齋藤 繁(群馬大学大学院医学系研究科麻酔神経科学分野)、柴田 ゆうか(広島大学病院医療安全管理部)

- 4-02-S55-1 日本麻酔科学会の周術期管理チームメンバー養成事業
齋藤 繁
群馬大学大学院医学系研究科麻酔神経科学分野
- 4-02-S55-2 術前外来における取り組み ~術前休薬基準見直しと診療科特性を考慮した調整~
石塚 良子、尾崎 淳子、松原 和夫
京都大学医学部附属病院薬剤部
- 4-02-S55-3 地方中核病院における持参薬センター運用と周術期業務チェックシートの活用
日江井 和英¹、土本 暁斗¹、安田 翔¹、武富 佳那子¹、水野 楓子¹、佐藤 和也¹、塚原 民夫¹、宇佐見 文隆¹、堀内 正¹、加納 久美子²、山崎 潤二³、梶川 真樹⁴
¹地方独立行政法人岐阜県立多治見病院薬剤部、²地方独立行政法人岐阜県立多治見病院看護部、³地方独立行政法人岐阜県立多治見病院麻酔科、⁴地方独立行政法人岐阜県立多治見病院外科
- 4-02-S55-4 京都第二赤十字病院における周術期医療安全に関する取り組み~お薬サポートセンターから入退院支援センターへ~
福田 喬士、野口 裕介、堀内 あす香、神田 英一郎、友金 幹視
京都第二赤十字病院薬剤部

Postdoctoral Award 受賞講演

13:25 ~ 14:55

- 座長：山田 清文(名古屋大学医学部附属病院薬剤部)
- PA-1 データマイニング手法を用いた医薬品副作用発現リスクの定量的評価モデルの開発
今井 俊吾
北海道大学病院薬剤部

- PA-2 大腿部 MRSA 感染マウスモデルを用いたダプトマイシン (DAP) 負荷投与の検討
加藤 秀雄^{1,2}
¹愛知医科大学感染症科、²The University of Queensland Centre for Clinical Research
- PA-3 チオベンタールとプロポフォールの血管外漏出の病理学的評価に基づく傷害リスクの解明と罨法の効果に関する基礎的研究
柴田 ゆうか
広島大学病院医療安全管理部
- PA-4 新規 EGFR-TKI 耐性獲得因子 eIF3c の同定と臨床的意義の解明
新谷 拓也^{1,2}、東阪 和馬^{2,3}、前田 真貴子²、濱田 将矢²、辻 亮介²、川崎 桂輔⁴、山本 智也¹、前田 真一郎^{1,2}、森井 英一⁴、熊ノ郷 敦⁵、堤 康央²、長友 泉⁵、藤尾 慈²、奥田 真弘¹
¹大阪大学医学部附属病院薬剤部、²大阪大学大学院薬学研究科、³大阪大学大学院医学系研究科法医学、⁴大阪大学大学院医学系研究科病態病理学、⁵大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学
- PA-5 抗精神病薬による血液毒性の発現機序に関する研究
鳥居 綾^{1,2}
¹金城学院大学薬学部、²名城大学薬学部病態解析学 I
- PA-6 臨床情報を用いた吃逆のリスク因子とその治療に関する研究
細谷 龍一郎^{1,2}、田中 一平¹、石坂 範子¹、永村 陽一郎¹、野澤 (石井) 玲子³、網野 猛⁴、鎌田 智幸⁴、日野 斉一¹、加賀谷 肇⁵、植沢 芳広²
¹武蔵野赤十字病院薬剤部、²明治薬科大学医療分子解析学研究室、³明治薬科大学臨床神経薬理学研究室、⁴武蔵野赤十字病院神経内科、⁵医薬品適正使用・乱用防止推進会議
- PA-7 抗がん薬オキサリプラチン誘発末梢神経障害に対する新規予防薬の探索
山本 将大
国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所脂質シグナリングプロジェクト

11月4日 (月・祝)

第5会場 (福岡国際会議場 2F 203 + 204)

シンポジウム 56

9:00 ~ 11:00

薬剤師による感染症診療支援のレベルアップに向けて

オーガナイザー：塩田 有史 (愛知医科大学病院感染制御部 / 薬剤部)、三嶋 廣繁 (愛知医科大学病院感染症科 / 感染制御部)

座長：高橋 佳子 (兵庫医科大学病院薬剤部)、三嶋 廣繁 (愛知医科大学病院感染症科 / 感染制御部)

- 4-05-S56-1 大学病院 (感染症科有り) における薬剤師の感染症診療支援
塩田 有史^{1,2}、浅井 信博^{1,3}、小泉 祐介^{1,3}、山岸 由佳^{1,3}、三嶋 廣繁^{1,3}
¹愛知医科大学病院感染制御部、²愛知医科大学病院薬剤部、³愛知医科大学病院感染症科
- 4-05-S56-2 大学病院 (感染症科無し) における薬剤師の感染症診療支援
茂見 茜里^{1,2}
¹鹿児島大学病院薬剤部、²鹿児島大学病院感染制御部
- 4-05-S56-3 大規模病院における薬剤師の感染症診療支援
奥平 正美
安城更生病院薬剤部
- 4-05-S56-4 中規模病院における薬剤師の感染症診療支援
木村 匡男
鈴鹿回生病院薬剤管理課
- 4-05-S56-5 大学薬学部
継田 雅美
新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室

シンポジウム 57

13:25 ~ 15:25

改正医療法施行後の TDM 研究の実践と発展に向けて

オーガナイザー・座長：谷川原 祐介 (慶應義塾大学医学部)、
増田 智先 (九州大学病院薬剤部 (現国際医療福祉大学成田病院薬剤部・同薬学部))

- 4-05-S57-1 改正医療法に準拠した TDM 精度管理の実践
谷川原 祐介
慶應義塾大学医学部
- 4-05-S57-2 臨床検査における精度管理と標準化
滝野 寿
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
- 4-05-S57-3 TDM 精度管理全国サーベイ：免疫抑制薬
増田 智先
国際医療福祉大学成田病院薬剤部

4-05-S57-4 TDM 標準化と日本 TDM 学会が目指すもの
 柴田 敏之
 京都薬科大学薬物動態学分野

共催：一般社団法人日本 TDM 学会

11月4日(月・祝)

第6会場(福岡国際会議場 3F メインホール)

シンポジウム 58

9:00 ~ 11:00

緩和医療における医療安全につなぐ道しるべ!

オーガナイザー・座長：高瀬 久光(日本医科大学多摩永山病院薬剤部)、井手口 直子(帝京平成大学薬学部)

- 4-06-S58-1 緩和医療領域におけるポリファーマシーに対する薬剤師の介入に関する全国実態調査
 内田 まやこ^{1,9}、鈴木 真也^{2,9}、菅 幸生^{3,9}、菅原 英輝^{4,9}、国分 秀也^{5,9}、植沢 芳広^{6,9}、中川 貴之^{7,9}、高瀬 久光^{8,9}
¹大阪薬科大学臨床薬学教育研究センター、²国立がんセンター東病院薬剤部、³金沢大学医薬保健研究域薬学系、
⁴鹿児島大学病院薬剤部、⁵東京薬科大学薬学部、⁶明治薬科大学医療分子解析学、⁷京都大学医学部附属病院薬剤部、
⁸日本医科大学多摩永山病院薬剤部、⁹日本緩和医療薬学会研究推進委員会
- 4-06-S58-2 ポリファーマシーにおける薬剤師介入効果に関する前向き観察研究
 鈴木 真也^{1,9}、内田 まやこ^{2,9}、菅 幸生^{3,9}、菅原 英輝^{4,9}、国分 秀也^{5,9}、植沢 芳広^{6,9}、中川 貴之^{7,9}、高瀬 久光^{8,9}
¹国立がん研究センター東病院薬剤部、²大阪薬科大学臨床薬学教育研究センター、³金沢大学医薬保健研究域薬学系、
⁴鹿児島大学病院薬剤部、⁵東京薬科大学薬学部、⁶明治薬科大学医療分子解析学、⁷京都大学医学部附属病院薬剤部、
⁸日本医科大学多摩永山病院薬剤部、⁹日本緩和医療薬学会研究推進委員会
- 4-06-S58-3 プレアボイド報告から見た医療安全への貢献
 金子 健^{1,2}
¹慶應義塾大学病院薬剤部、²慶應義塾大学病院緩和ケアセンター
- 4-06-S58-4 医療安全～薬剤師の立場から
 鷺山 厚司
 福岡大学病院医療安全管理部
- 4-06-S58-5 医療安全～医師の立場から
 岡村 知直¹、皆元 文恵²
¹飯塚病院連携医療・緩和ケア科、²飯塚病院薬剤部
- 4-06-S58-6 医療安全のためのコミュニケーション
 井手口 直子
 帝京平成大学薬学部

市民公開講座

13:25 ~ 15:25

乳がんの最新情報～あなたとあなたの家族のために～

オーガナイザー：大野 真司(がん研究会有明病院乳腺センター)

11月4日(月・祝)

第10会場(福岡国際会議場 4F 411 + 412)

シンポジウム 59

9:00 ~ 11:00

【医療薬学会 保険薬局 WG】薬局薬剤師の専門性について考えるージェネラリストとスペシャリストの狭間でー

オーガナイザー・座長：宮崎 長一郎(有限会社宮崎薬局)、出石 啓治(いずし薬局)

- 4-10-S59-1 薬機法等改正において薬剤師の専門性に期待すること
 境 啓満
 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課
- 4-10-S59-2 地域包括ケアにおける薬局薬剤師の専門性について
 吉田 力久
 日本薬剤師会
- 4-10-S59-3 薬局薬剤師が目指すスペシャリストとは
 伊藤 譲
 株式会社レーベンブランレモン薬局三方原店
- 4-10-S59-4 薬局薬剤師に求められる認定薬剤師・専門薬剤師とは
 竹内 尚子
 トライアドジャパン株式会社
- 4-10-S59-5 経口抗がん薬薬物療法の PBPM を実施して、薬局薬剤師における抗がん薬薬物療法の専門性獲得について考えたこと
 中村 優^{1,2}、天本 耕一郎^{1,2}、手嶋 無限^{1,2}、池田 理恵¹、中村 忠博^{1,3}、山形 浩介^{1,2}、井手 陽一^{1,2}、水崎 直文¹、
 宮崎 彰宣¹、秋吉 隆治¹、有澤 賢二⁴、宮崎 長一郎⁴、安原 真人⁵、佐々木 均^{1,3}、田代 浩幸¹
¹一般社団法人長崎県薬剤師会、²一般社団法人長崎市薬剤師会、³長崎大学病院薬剤部、⁴公益社団法人日本薬剤師会、
⁵帝京大学薬学部

4-10-S59-6 薬局薬剤師が担う医療薬学と薬学教育の役割

吉山 友二
北里大学薬学部保険薬局学

シンポジウム 60

13:25 ~ 15:25

今だからこそ考える感染領域における薬剤師認定制度の変遷・ニーズ・展望

オーガナイザー・座長：北原 隆志（山口大学医学部附属病院薬剤部）、村木 優一（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

4-10-S60-1 薬剤師の感染制御への関与 創設期

白石 正
日新薬品株式会社学術教育部

4-10-S60-2 専門薬剤師誕生期

継田 雅美
新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室

4-10-S60-3 院内感染対策チームにおいて薬剤師は何を実践していくべきか

中川 博雄
長崎大学病院安全管理部 / 薬剤部

4-10-S60-4 AMR 時代 AST への関与

橋本 麻衣子
信州大学医学部附属病院薬剤部

4-10-S60-5 感染領域における認定制度と薬剤師の役割・展望

北原 隆志
山口大学医学部附属病院薬剤部

共催：一般社団法人日本病院薬剤師会

11月4日（月・祝）

第11会場（福岡国際会議場 4F 413 + 414）

シンポジウム 61

9:00 ~ 11:00

リウマチと妊娠 治療と薬剤の安全性評価を考える

オーガナイザー：中島 研（国立病院機構相模原病院薬剤部）、山根 律子（虎の門病院薬剤部）
座長：山谷 明正（国立研究開発法人国立成育医療研究センター）、山根 律子（虎の門病院薬剤部）

4-11-S61-1 拳児希望の関節リウマチ患者をどう診るか

後藤 美賀子
国立研究開発法人国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター

4-11-S61-2 妊娠とリウマチ薬

中島 研
国立病院機構相模原病院薬剤部

4-11-S61-3 抗リウマチ薬の妊娠中使用における安全性の情報と評価～主として生物学的製剤について～

村岡 香代子
九州大学病院薬剤部

4-11-S61-4 新規抗リウマチ薬の児への影響とわが国での取り組み

八鍬 奈穂
国立成育医療研究センター薬剤部妊娠と薬情報センター

シンポジウム 62

13:25 ~ 15:25

難病治療における薬剤師の関わり ～根治療法のない疾患に薬剤師はどう向き合うのか？～

オーガナイザー・座長：池田 龍二（宮崎大学医学部附属病院薬剤部）、城野 博史（熊本大学病院薬剤部）

4-11-S62-1 アルツハイマー病モデルマウスの開発からの応用展開

斉藤 貴志
名古屋市立大学大学院医学研究科認知症科学分野

4-11-S62-2 難病診断の測定系確立による薬剤師としての診療科への貢献 ～ゴーシェ病の治療に向けて～

寺菌 英之^{1,2}、日高 朋¹、高橋 毅行^{1,2}、奥津 果優³、吉満 誠⁴、武田 泰生^{1,2}
¹ 鹿児島大学病院薬剤部、² 鹿児島大学歯学部総合研究科薬物動態制御学、
³ 鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター、⁴ 鹿児島大学歯学部総合研究科人間環境学

4-11-S62-3 遺伝性腎疾患アルポート症候群に対する STAT3 抑制薬の効果

横田 翼^{1,2}、MaryAnn Suico²、首藤 剛²、甲斐 広文²、池田 龍二¹
¹ 宮崎大学医学部附属病院薬剤部、² 熊本大学大学院薬学教育部遺伝子機能応用学分野

4-11-S62-4 先天脂質代謝異常症 Niemann-Pick 病 C 型を克服するために、薬剤師（薬学研究者）としてどう向き合うべきか？

石塚 洋一
熊本大学薬学部・大学院生命科学部薬剤情報分析学分野

- 4-11-S62-5 環境因子が影響する難聴の予知・予防法の解析
 大神 信孝
 名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学

11月4日(月・祝)

第12会場(福岡国際会議場 5F 501)

シンポジウム 63

9:00 ~ 11:00

その業務、どう役立っている? 求められるアウトカムとは
 ~診療報酬での評価、政策への反映を見据えて~

オーガナイザー: 林 稔展(福岡大学薬学部臨床薬学教室)、松尾 宏一(福岡大学筑紫病院薬剤部)
 座長: 林 稔展(福岡大学薬学部臨床薬学教室)、鶴崎 泰史(国立病院機構熊本医療センター薬剤部)

- 4-12-S63-1 いつもの業務から始まる臨床研究
 ~薬剤師のあらたな役割のために~
 川田 敬
 高知大学医学部附属病院薬剤部

- 4-12-S63-2 経口抗がん薬に対する薬剤師外来の取り組みとアウトカム評価
 郷 真貴子
 大垣市民病院薬剤部

- 4-12-S63-3 人生100年時代における薬剤師の活躍に向けて
 中井 清人
 厚生労働省

- 4-12-S63-4 病院・診療所薬剤師業務と診療報酬評価
 川上 純一
 浜松医科大学医学部附属病院薬剤部

シンポジウム 64

13:25 ~ 15:25

今、病院薬剤師が取り組むべき情報連携
 ~地域医療を支えるために多職種連携で求められる薬剤師の機能とは~

オーガナイザー: 岸本 真(霧島市立医師会医療センター薬剤部)、小枝 伸行(八尾市立病院事務局)
 座長: 岸本 真(霧島市立医師会医療センター薬剤部)、荒川 隆之(社会医療法人清風会五日市記念病院)

- 4-12-S64-1 地域包括ケアシステムにおける薬剤師への期待~医療連携実務者の視点から~
 木佐貫 篤
 宮崎県立日南病院

- 4-12-S64-2 地域とつながる院内薬剤師に求められる連携マインド 地域医療連携室看護師の立場から
 塚本 知恵子^{1,2}
¹医療法人社団六心会伊丹恒生脳神経外科病院地域医療連携室、²一般社団法人日本地域統合人材育成機構

- 4-12-S64-3 岐阜県総合医療センターにおける入院前患者情報の共有を起点とした医療連携
 谷沢 克弥
 岐阜県総合医療センター

- 4-12-S64-4 地域医療を支えるために患者の薬物療法の物語を紡ぐ
 薬剤管理サマリーを活用し薬剤情報を共有
 賀勢 泰子
 医療法人久仁会鳴門山上病院

11月4日(月・祝)

第14会場(マリンメッセ福岡 2F 大会議室)

シンポジウム 65

9:00 ~ 11:00

薬剤師・医療薬学分野における男女共同参画および働き方改革を考える

オーガナイザー: 川上 純一(国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院)、賀勢 泰子(医療法人久仁会鳴門山上病院)
 座長: 賀勢 泰子(医療法人久仁会鳴門山上病院)、筒井 由佳(社会医療法人近森会近森病院薬剤部)

- 4-14-S65-1 「ここで働きたい!」と思える薬剤部を目指してー自由に、柔軟に、近森会グループの取り組みー
 筒井 由佳
 社会医療法人近森会近森病院薬剤部

- 4-14-S65-2 男女を問わずいきいき活躍できる社会作りを目指してー静岡県病院薬剤師会およびコミュニティーホスピタル甲賀病院の取り組み事例
 渡邊 学
 社会医療法人駿甲会コミュニティーホスピタル甲賀病院診療技術部

- 4-14-S65-3 男女がともに活躍できる徳島大学を目指すーAWAサポートセンターの取り組みー
 石澤 有紀
 徳島大学AWAサポートセンター

4-14-S65-4 保険薬局及び、薬剤師会等における男女共同参画の働き方と考え方から見えるもの
宮原 富士子
特定非営利活動法人 HAP

11月4日(月・祝)

第15会場(マリンメッセ福岡 3F サブアリーナ)

シンポジウム 66

9:00～11:00

水・電解質を中心とした末梢輸液療法を実践するための輸液教育とは？

オーガナイザー・座長：名徳 倫明(大阪大谷大学薬学部実践医療薬学講座)、
佐古 守人(東住吉森本病院)

4-15-S66-1 大学における輸液教育の現状と課題

名徳 倫明
大阪大谷大学薬学部実践医療薬学講座

4-15-S66-2 脱水から考える末梢輸液療法の教育と実践

佐古 守人
東住吉森本病院

4-15-S66-3 体液調整ホメオスタシス機構から末梢輸液療法教育を考える

梶原 洋文
社会医療法人三愛会大分三愛メディカルセンター

4-15-S66-4 薬剤師に求める末梢輸液療法への介入とは？～医師の立場から～

錦織 英史
社会医療法人大分三愛メディカルセンター消化器病・内視鏡センター消化器内科